

富山市総合計画策定に向けた
地域別ワークショップ結果報告書

平成18年2月

地域別ワークショップメンバー

目 次

1.開催要領	1
2.総合計画策定に当たって	3
3.富山市の将来像	3
4.重点方針と施策	4
(1)高齢化社会における健康都市宣言	4
(2)地域コミュニティの活力増進	5
(3)コンパクトタウンの形成	6
(4)公共交通のインフラ整備と利用促進	7
(5)富山市の活力アップ	8
5.富山市が取り組むべきテーマ・目標	11
6.意見・提言のまとめ	13
(1)富山地域	13
(2)大沢野・大山・細入地域	27
(3)八尾・婦中・山田地域	36

1. 開催要領

目的

富山地域、大沢野・大山・細入地域、八尾・婦中・山田地域の3地域ごとに、公募市民による地域別ワークショップを開催することにより、地域や分野ごとの問題を抽出し、問題解決のための施策や主要事業についての提案を取りまとめ、総合計画策定のための基礎資料とする。

参加者

(敬称略・各地域五十音順)

富山地域	大沢野・大山・細入地域	八尾・婦中・山田地域
奥田 健雄	川口 彰悦	岩崎 久夫
中島 茂雄	柴田 時和	加藤 哲
中野 満能	長沢 進	桐井 博
中林 伸男	中村 宗充	竹内 昭男
布村 定也	貫場 美紀	田代 忠之
能作 靖雄	本多 秀男	中川 尚孝
飛見 丈行	村中 浩則	場家 茂夫
廣瀬 敏男	本芳 彦弘	村上 光進
堀江 清三	山下 登	柳原 正年
本庄 清志	山本 正勝	山口 和雄
水落 勇二	(10名)	山田 満理子
山本 逸哉		(11名)
(12名)		

開催経過

		富山地域	大沢野・大山・細入地域	八尾・婦中・山田地域
第1回	日時	平成17年10月17日(月) 18:00~20:30	平成17年10月19日(水) 18:00~20:30	平成17年10月21日(金) 18:00~20:30
	場所	本庁8階大会議室	大沢野総合行政センター402会議室	婦中総合行政センター別館3階ホール
	出席者	10名(欠席2名)	10名	10名(欠席1名)
第2回	日時	平成17年11月14日(月) 18:00~20:30	平成17年11月16日(水) 18:30~21:00	平成17年11月18日(金) 18:30~21:00
	場所	富山国際会議場206会議室	細入公民館	八尾健康福祉総合センター
	出席者	11名(欠席1名)	8名(欠席2名)	9名(欠席2名)
第3回	日時	平成17年12月12日(月) 18:00~20:30	平成17年12月14日(水) 18:30~21:00	平成17年12月16日(金) 17:30~
	場所	とやま市民交流館 学習室4	大山図書館 研修室	ふれあいの里「ささみね」
	出席者	9名(欠席3名)	8名(欠席2名)	8名(欠席3名)

■ プログラム

第1回

あいさつ
総合計画について
ワークショップの進め方説明
・プログラム紹介
・スタッフ紹介
・参加者自己紹介
問題・課題の抽出
参加者アンケート
次回開催予定の報告



【富山地域】



【大沢野・大山・細入地域】



【八尾・婦中・山田地域】

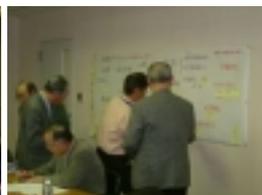


第2回

ワークショップの進め方説明
・プログラム紹介
・前回ワークショップの振り返り
必要な施策・事業の検討
次回開催予定の報告



【富山地域】



【大沢野・大山・細入地域】



【八尾・婦中・山田地域】



第3回

ワークショップの進め方説明
・プログラム紹介
・前回ワークショップの振り返り
課題に対する重点事業の設定について
富山市の将来像について



【富山地域】



【大沢野・大山・細入地域】



【八尾・婦中・山田地域】

2. 総合計画策定に当たって

3地域、3回、延べ9回にわたりワークショップを開催し、合併後の新市の課題、必要な施策・事業を協議し、市民の意識・行動の変革、そして将来像を協議・提案してきました。

また、総合計画における数値目標の導入や、総合計画に対する期待について、整理を行い、以下のとおり報告いたします。

総合計画に対する期待

総合計画はTOYAMA value の素晴らしさが満ちあふれる街づくりの方向性を明快にプレゼンテーションするものであって、21世紀に誇れる富山の価値と感性を象徴する独創的な街づくりを目指す指針となること。

3. 富山市の将来像

	富山地域	大沢野・大山・細入地域	八尾・婦中・山田地域
キーワード	人、自然、豊かさ	協働、誇り、交流	くすり、健康 山、川、海 人と街
将来イメージ	<ul style="list-style-type: none"> ●富山市民が生活の豊かさを享受できるまち ●歩いて楽しいまち ●高齢者が住みやすいまち ●介護保険普及率が日本一低いまち（介護サービスの必要な人の割合が日本一低いまち） ●「健康文化都市宣言」。 健康No.1 都市		
数値目標	①健康年齢のアップ ②都市観光施設の観光客数	①技術系コンベンション数 ②進出企業数 ③祭り動員数	①個人ごとの健康管理目標の設定

4.重点方針と施策

(1) 高齢化社会における健康都市宣言

高齢化社会の到来を市民一人ひとりが身近な問題と捉え、市民が主役となって行政と協働しながら、健康・保健・福祉の問題を考えていく必要がある。

現代社会では、市民意識の変化により一人ひとりの個性や多様なライフスタイルが尊重されながら、個人の多様な価値観に応じた人生を過ごす生き方が求められており、そのためには、住み慣れた地域で、自立して安心した生活を続けていくことが必要である。

また、高齢化社会は将来にわたり、財政の逼迫を生むとみられ、「健康な高齢期」を過ごす社会の実現に向けて、市民すべてが努力していかなければならない。

そのためには、高齢者自身も権利だけでなく、老後に備えるなどの義務を果たす必要がある。

方針

①体と心の健康づくりの推進

市民一人ひとりの夢や願いを実現するために必要な「健康であること」を実現するために、健康に対する市民の自覚を促し、健康のための施策を充実する。

②介護予防の推進

介護予防に対する社会の理解を深め、後期高齢者の介護予防という点から、認知症予防や寝たきり・虚弱高齢者等に対する、適切な対応を図る。

③高齢者が地域社会で活躍できる仕組みづくり

地域の防犯、環境問題などに、高齢者が持つ経験、時間、能力を活用し、高齢者が社会の一員として活躍でき、かつ、生きがいづくりに役立つ仕組みを施策として導入する。

(2) 地域コミュニティの活力増進

各地域では、急速に少子高齢化や核家族化が進行し、地域の担い手不足が深刻化しており、地域の防犯、地域福祉、祭り、伝統行事の維持が困難な地域も見られる。

安全・安心が揺らぐ現代社会の中であって、子どもや高齢者、障害者をはじめ、誰もが住み慣れた家庭や地域で安心して暮らしていくことへの願いがますます強くなっている。

すべての人が一人の人間として尊重され、お互いに理解し合い、共に支え合い、助け合い、地域固有の文化を維持発展させていくためには、地域コミュニティ活動の強化が求められている。

現在、富山市の過疎地域においては深刻な担い手不足となっており、反面、新興住宅地では地域への関心が薄く、また、旧来型の自治会組織運営の批判、各種団体の乱立（行政の下請け機関）とともに、合併による地域コミュニティの不安定感がある。

方 針

①地域住民の主体的活動の支援

子供の安全、防犯対策、地域福祉、景観形成、健康増進など、行政がすべてを担うことはできない。住民ができることは住民でやる仕組みと組織を形成するように、自治会組織などの強化を促進する。また、地域の課題に対して、縦割りで対応するのではなく、総合窓口を設ける。

②地域の歴史、文化、伝統維持のための支援

これまで長年にわたって培われてきた、各地域における歴史、伝統、文化、個性に基づくまちづくりの成果等を十分に尊重する。

また、イベント、特産品づくりなど、各地域のコミュニティ活動を尊重し、まちづくりの成果を継承するとともに将来的にも生かしていく。

③地域環境保全、経済の振興

競争社会の中で、地域に立脚した観光産業や商店街が窮地に追い込まれている。単に時代の変化として見過ごすことはできない。

地域には特有の風土があり、産業による雇用があり、生活があることから、地域の工夫や努力を支援する施策を導入する。

(3) コンパクトタウンの形成

旧富山市中心市街地や旧町部での人口の減少がみられ、八尾（大長谷地区）、細入、山田地域では過疎化が進行している。一方では、新興住宅地の開発によって人口増加地域が見られ、地域のアンバランスが生じている。

これによって、中心商店街の衰退、人口移動による小学校の統合・廃校と新設、下水道などの公共インフラの未利用と無駄、優良農地の減少など様々な問題が発生している。

この原因は、「用途地域、市街化調整区域、農地転用など土地利用に関する誘導が曖昧」「農業や林業が生活を支える産業でなくなった」「都心地区の地価が住宅供給を阻害し商業経営コストの増大をもたらした」「合理化・効率化された新しい産業（ショッピングセンター等）の成長」などがあげられる。

高齢化・成熟社会の中で、分散し、拡散したまちを形成している富山市は、インフラ整備・維持などの財政コストの増大を招く恐れがあることから、将来にわたり大きな課題になる可能性が高い。

富山市は中心市街地の活性化を推進すると同時に、D I D地域内、旧町村の拠点地域において、「歩いて行ける範囲に自然、歴史、文化、教育があり、コミュニティでの協働のまちづくりを行い、産業を育むこと」に重点的に取り組む必要がある。

方針

①土地利用の適地適利用

土地利用の誘導強化を行い、分散し拡散した土地利用の政策から、適地適利用という理念の下に、一定の人口密度が確保され、歩いていける範囲に生活基盤施設を配置し、コンパクトタウンの形成を実現する。

②都心地区の土地利用の高度化

中心市街地への住宅の誘導、生活関連商業・サービス業の誘導・育成、事業所の誘致、都心型産業の育成、公共交通の充実を強力に推進する。

③農業・林業の振興

農業で生活を営めるよう農業の振興（付加価値化と効率化）を図り、中山間地では雇用の確保が最大のテーマであり、森林業産業の育成とグリーンツーリズム等の観光振興を推進する。市民の消費スタイルも地元産品を優先する運動を展開する。

④学校区制の緩和

人口移動による小学校の統合・廃校と新設が繰り返されている。学校区制については旧市町村の垣根を取り払うと同時に、スポーツ、芸術など特色ある学校教育を推進し、学童・両親の多様な価値観において選択できるシステムを導入、現存のインフラを有効利用する政策を推進する。

(4) 公共交通のインフラ整備と利用促進

富山市は人口密度が薄く、公共交通の不便さとあいまって自動車交通に多くを依存する構造にある。自動車に頼りすぎた都市では高齢者をはじめとする交通弱者の足確保は重要な課題であり、また、航空機・鉄道等自家用車以外による他地域からの来訪者にとっても、エリア内の移動に際して、公共交通が存在しない場合の不便は大きい。公共交通ネットワークの形成と料金的な緩和が不可欠である。

方 針

①ライトレールの拡充

富山港線のみならず、旧町村への延伸を図り、バスなどのネットワーク化、パーク＆ライドの充実を図る。

また、駅周辺における住宅開発、公共施設整備など、公共交通が利用しやすい環境を整備する。

②コミュニティバスの充実

コミュニティバスの運行に当たり、現行では地方鉄道と路線が同じルート設定に制約があり、地域の実情を反映したコミュニティバスのルートが確立されていない。

利用者の視点に立ったルート、料金設定を行い、公共交通が利用しやすい体系に整備する。

(5) 富山市の活力アップ

今後、かつてのような高度経済成長が期待できなくなり、国内市場の成熟化、生産拠点の海外移転、地球環境保全への取り組み、IT（情報通信技術）をはじめとする技術革新の進展などは、既にはじまっており、これを受けて構造改革などの新しい社会経済システムへの取り組みが進められている。

こうした経済社会の環境変化は人々の新しいニーズを生み、農村においては定年退職した団塊の世代の新規就農など様々な可能性が生まれてくる。また、富山市においては平成24年に北陸新幹線の開業が見込まれ、個性的な観光客の増大などが期待される。

一方、富山市は創業、ベンチャーといわれる新規産業の輩出も力強さに欠け、中小企業から上場企業へと成長していく企業も、ここ数年はゼロにあり、富山市の産業の活力という点では、課題も多い。

優れた企業が輩出されてこそ、雇用が生まれ、人口の増加を通じた活力が生まれていくといえる。

富山市の産業振興について、従来のような工場団地の形成から、成長が期待されるサービス産業へと、富山市の産業振興政策を転換していく必要がある。

方 針

①都市観光の振興（選ばれる地域）

定住人口の増大が期待できない中で、交流人口増大のための都市戦略が必要である。北陸新幹線や東海北陸自動車道、富山高山連絡高規格道路など高速交通網の整備が進み、地域間の交流は活発化し、経済・観光面において飛躍的な交流が期待できる。

北陸新幹線の開業は、東京などの沿線地域との時間距離を大幅に短縮するが、反面、東北新幹線の開業でみられた東北地域での仙台市一極集中を生む。北陸の場合、金沢市への一極集中が懸念され、富山市は観光・産業面において、オリジナリティの高い基盤整備が求められている。

- ・城址公園、松川、いたち川周辺の観光整備を魅力あるものに
- ・おわら風の盆の振興、歴史的なまちづくりの推進
- ・立山山麓観光の振興

②地域間交流の推進

農山村でゆとりある休暇を過ごしたいと希望する都市住民や、田舎暮らしをしたいと希望する都市住民が確実に増えてきている。このような都市住民との共生・対流を推進することにより、農家民宿や農家レストラン、体験インストラクターなど、グリーンツーリズム産業の起業・振興を通じて、地域住民の経済的な豊かさを実現する。

また、各地域が富山市全域の住民との交流を通じて地域住民に生きがいを育み、さらに、都市住民のＩターン・Ｕターンによる定住人口の拡大を通じて、地域が「元気」になることが期待できる。

- ・グリーンツーリズムの振興
- ・新規就農学校
- ・首都圏での富山市テレビ広告

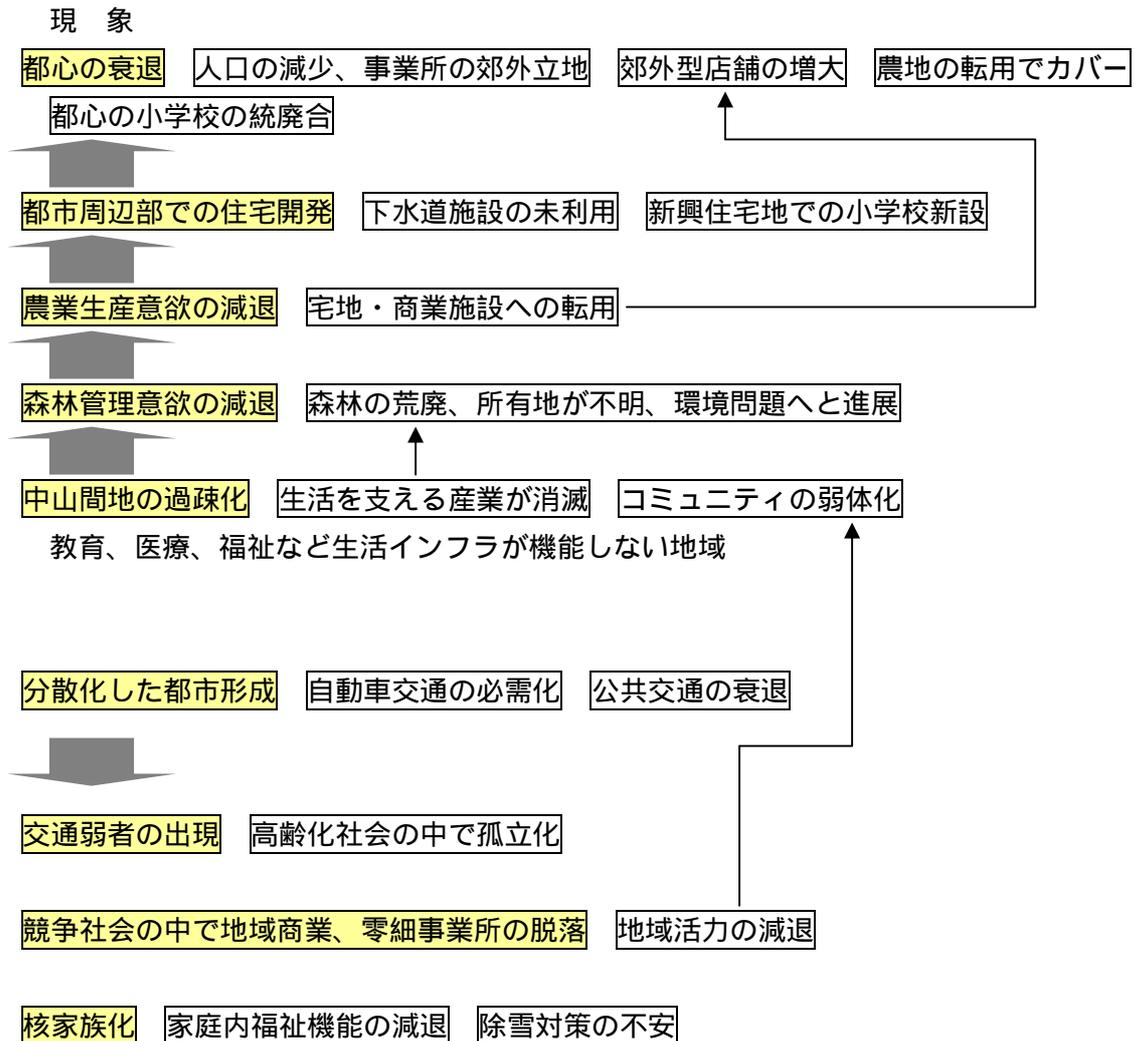
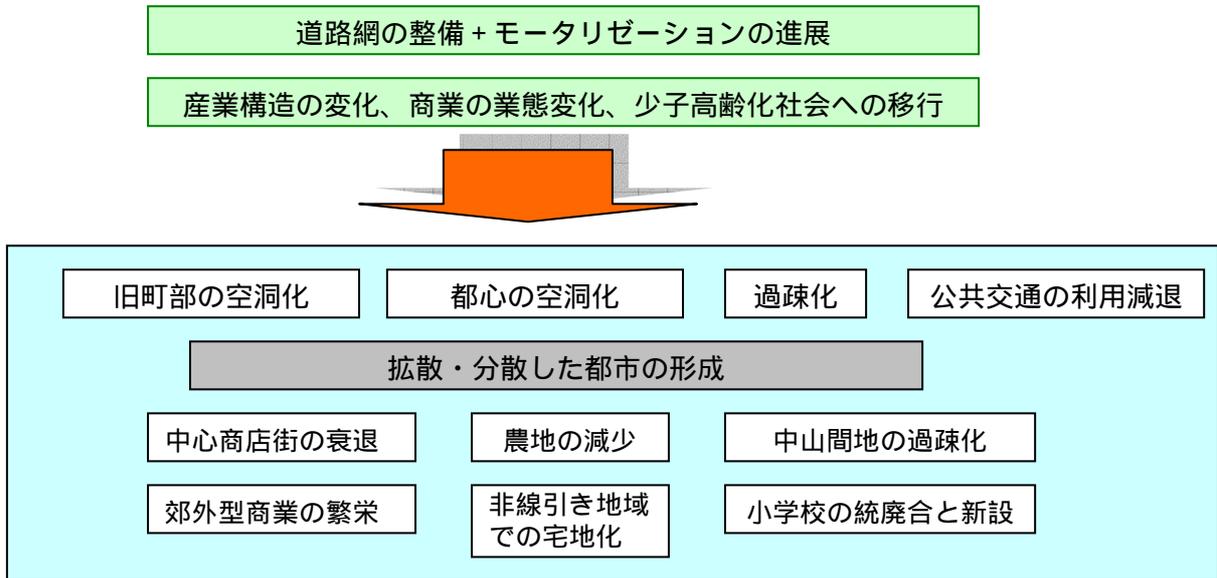
③中心市街地の活性化

富山西武の退店が発表され、市街地再開発事業による大和百貨店の拡充・移転など中心市街地活性化への期待がかかる中で、大きな打撃となることは間違いない。

市街地再開発事業の着実な進展を図り、生活者の視点に立ったまちづくりの推進が求められる。

(参考)

富山市の社会構造



5. 富山市が取り組むべきテーマ・目標

テーマ	目標	施策・事業
高齢化社会の健康都市づくり	健康年齢アップ 介護認定率の全国最低（介護サービスの必要な人の割合が日本一低いまち）	体と心の健康づくりの推進 介護予防の推進 高齢者が地域社会で活躍できる仕組みづくり
地域コミュニティの確立	地域コミュニティを尊重、育成し、地域コミュニティに立脚した住民参加型の行政運営を従来にも増して進めていく	地域住民の主体的活動の支援 地域の歴史、文化、伝統維持のための支援 地域環境保全、経済の振興
コンパクトタウンづくりの推進	活力ある都市形成 住みやすく、効率的なまちづくりの推進	土地利用の誘導 公共交通の充実 郊外化の抑制
公共交通のインフラ整備と利用促進	公共交通機関の利用者増大 遅れがみられる地域の情報・交通ネットワーク基盤の整備	ライトレールの延伸 コミュニティバスの利便性向上 幹線道路の整備、生活道路の整備 携帯電話不感地帯の解消
富山市の活力アップ	観光客の増大 交流人口の増大 中心市街地の活力復活 雇用基盤である産業の活力推進 人の活力復活	城址公園、松川、いたち川周辺の観光整備を魅力あるものに おわら風の盆の振興、歴史的なまちづくりの推進 立山山麓観光の振興 都心地区の高度土地利用の推進 観光振興、外国人観光客の誘致 新しい産業の開発促進、起業家の育成、観光型商店街の形成、 Iターン・Uターンの促進
安心・安全・健康な生活の確立	地域での介護・福祉制度の充実や、健康を維持するための活動や仕組みづくり ご近所の底力を発揮する	老後の安心、子育ての安心、事故・災害に対する安心 上下水道などの生活インフラ、良好な住環境、高齢者の介護・福祉の安心 地域活動のふれ合い、楽しい農業
豊かな自然環境と美しい景観の創造	森林、里山、河川、海岸の自然環境を守る 都市景観の向上	田園・河川・森林環境、景観作物 地域材活用、環境保全型農業 環境に優しいゴミ対応
一体感の醸成	合併後の富山市の一体感の醸成	地域間交流の促進 イベント、催事の連携（開催スケジュールの調整）

<p>農業・林業の振興</p>	<p>過疎化を防ぎ、森林・里山の環境を保全し、生活を支える産業へ</p>	<p>プロ農家、大規模化・低コスト化、集落営農 特産品、加工、販売、ブランド化、マーケティング、地元木材の地産地消 グリーンツーリズム、体験、交流、農業の観光産業化、 新規就農準備、定年帰農</p>
<p>効率的な行財政運営の実現</p>	<p>縦割り行政の排除、国・県・市の一体的事業による効率化 地域住民の意見を反映する</p>	<p>自主・自立の地域社会を実現 「官から民へ」</p>

6.意見・提言のまとめ

(1) 富山地域

【第1回】



【第2回】



【第3回】



富山市の将来像

キーワード

人、自然、豊かさ

・富山市民が生活の豊かさを享受できるまち

・歩いて楽しいまち

・高齢者が住みやすいまち

・介護保険普及率が日本一低いまち
(介護サービスの必要な人の割合が日本一低いまち)

・「健康文化都市宣言」。健康No.1 都市

数値目標

健康年齢

観光客数

重点事業

市街地整備	<ul style="list-style-type: none"> ・「環境と創造の夢舞台」の具現化 環境 = 松川、いたち川など水をキーポイントに、美しい水、ホタル、水車、花、樹木、鯉など自然環境を整備、「幸せの遊歩道」とする。 創造 = お濠南側に朝市用の家屋をつくる。大手モールに武家屋敷風の一間間口の店舗を作る。(高山の朝市、陣屋を参考に) 夢舞台 = 千歳御殿にゆめ舞台を作る。あらゆる芸能や催し物の発表の場とする。 ・富山駅南のクリーン化。
公共交通	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の手でコミュニティバスの運行をする。 ・富山空港まで路面電車を延伸。
景観	<ul style="list-style-type: none"> ・呉羽山からの立山連峰眺望が最高である。眺望をさえぎる雑木を市民の力で整備する。 ・まちのカラーを落ち着いた、センスのあるものに。市電、バスの色の見直し。
学校教育	<ul style="list-style-type: none"> ・学園都市づくり ・学校の遠足は、市内の観光地を歩いて回るものにする。富山の歴史を学ぶ。 ・「環境」の科目を入れる。地球環境について、子供のときからの教育が必要。
福祉全般	<ul style="list-style-type: none"> ・医療、介護、福祉に財政が費やされる 在宅での介護にシフト ・特養施設は中心街に作る。 ・出生率を上げるための補助 ・高齢者が子供たちの安全パトロールに活躍 ・廃校はカルチャーセンターに、夜は学童保育に。 ・北陸3県で検疫を受けられる体制づくり。
防犯・火災	<ul style="list-style-type: none"> ・危機管理の徹底。災害のない街。
地域社会	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会を法人格にする。インセンティブを与える。 ・中心街より地域の力を大切に。富山市民がもっと富山を知るべき。岩瀬の森家、中島閨門などの活用。 ・名人、自慢できるもの(村の行事など)を登録し支援する ・行政のやっていることを市民がバックアップすることが大切。(例えばライトレール)

中心街	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中心街の路地裏の整備 界限性 ・ 池田屋周辺に面白い店舗がある。回遊性を持たせる。 ・ 大型観光バスの駐車場整備。 ・ 福祉、介護に対応した住宅整備 ・ 個店の売場面積を小さくし、特化した商品を販売する ・ 中心街と金沢、和倉などへの観光ルートを整備する。 ・ 北陸新幹線ができて通過都市にならないように、市民が中心街を盛り上げる ・ 大和跡地、西武跡地はパティオ形式の商店街に。 ・ 大和跡地は地権者ではなく、市民が考えるべき。
農業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健全な食材を供給するために食料自給率を高める。 地産地消ではなく「土産土方」
その他の産業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 工場、産業の観光化。一般公開すれば雇用にもつながる。 ・ 富山のデザイナーを育てる。
観光	<ul style="list-style-type: none"> ・ 富山城址公園を核とした観光振興 ・ 富山の冬をイルミネーションで飾り、雪を活用したイベント等を開催する。 ・ 観光バスの駐車場とトイレの整備 ・ アフターコンベンションの連携（岩瀬、八尾などへ足を運ぶように） ・ 上海からの観光客誘致 外国人対応のまち ・ 欧米人とアジア人の観光について分けて政策を行うべき。 ・ 企業に富山のPRをさせる。「富山のインテック」とか「富山市で育った」とかキャッチフレーズをいれてもらう。 ・ 立山山麓を整備。スキー場と温泉、国際化を振興
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第三市役所の新設（福祉、高齢者、自治会、環境、社会活動、NPOなど市民レベルの問題の解決を図る） ・ 道州制へ移行すべき ・ 産業教育訓練学校の充実と支援（人材派遣会社の活用が進む 企業の教育は進まない 就業訓練を担う組織を支援）

現状の問題点と対策

富山地域		問題点・課題	必要な施策・事業
都市基盤	市街地整備	市街地整備	市街地整備 <ul style="list-style-type: none"> ・古い制度の見直し、フォローアップ用途地域、建ぺい率の見直し。 ・日常社会生活区域、1万人単位の町、歩いて暮らせる町にしてほしい。 ・人口密度が低いこと、車利用者が多いこと、高齢化を考えたまちづくり。雪やゴミのことを考えると、コンパクトなまちづくりをするべき。 ・住宅地、商店街、歓楽街、ビジネス街など分割化したまちづくりが必要。
	道路・公共交通	道路 <ul style="list-style-type: none"> ・自転車、歩行者に優しくない ・日赤前から安野屋までの交通渋滞がひどい ・綾田北代線の混雑解消 ・狭く、暗い ・道路が狭いので、一方通行を増やす ・主要道路へ車が集中しすぎる。分散化対策を。 ・歩道橋、地下道路の減少 ・環境問題、経済面から、信号待ち時間の短縮。 ・車庫をもたず道路駐車が多い。もっと取締りを。 ・交通渋滞解消 ・交差点近くの横断歩道が交通障害 ・長時間の路上駐車が多い 	道路 <ul style="list-style-type: none"> ・既設道路を再点検する。歩行者や自転車に安全な道路であってほしい。 ・神通川の河川敷にバイパスを建設し、日赤前から安野屋への混雑を緩和する。 ・ボルファート裏から牛島ガードへの道を拡充し、一方通行を廃止して綾田北代線の混雑を緩和する。 ・歩道を広くして、その一部に駐車スペースを設ける。

富山地域	問題点・課題	必要な施策・事業
	<ul style="list-style-type: none"> ・携帯電話をしながらの運転が多い ・左折、右折の表示を出さない、出すのが遅い ・高齢女性の危険横断が多い ・公共交通を利用するとき、駐車券付乗車券で無料になる駐車場を整備して欲しい。 	
	<p style="text-align: center;">公共交通機関</p> <ul style="list-style-type: none"> ・料金が高い ・本数が少ない ・移動弱者の移動交通手段が少なく、買物に行けない人が増えている ・商業地域が離れすぎているのでマイカーの方が便利 ・路線が生活者の実態と合っていない ・自動車の利用しすぎ、健康のためにも自転車を活用すべき ・公務員からまず車離れをするべき ・車社会の終止符が先か公共交通機関の整備が先か問題 ・早朝、21時以降も運行して欲しい ・2時間に1本しかなく不便 	<p style="text-align: center;">公共交通機関</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富山駅に交通総合センターを設立。 ・公共交通機関利用促進 ・人と自転車を一緒に輸送する ・公共交通の一体化。バス、電車、タクシーの共通利用券の発行。駅から自宅までや買物場所から停留所まで距離がある場合、公共交通を利用しにくい。駅や停留所からタクシーを安い料金で利用できるようにする。ドイツでは公共料金が100円ぐらいで、チップを入れても300円から500円程度で済む。
	<p style="text-align: center;">コミュニティバス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まいどはやバス、黄バスの利用者が少ない、ルートになっている町の人もっと協力すべき ・公的病院が停留所にならないことが欠点 ・観光地岩瀬にもコミュニティバスを運行して欲しい ・路線が限られている ・規制改革特区を積極的に展開すべき 	<p style="text-align: center;">コミュニティバス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「まいどはやバス」や「黄バス」の路線の再検討と増設。 ・病院をルートに入れてほしい ・観光地岩瀬にコミュニティバスを運行し、岩瀬浜、エコタウン、東富山、蓮町スポーツ公園を廻るようにする。観光、企業見学、スポーツのために利用できる。

富山地域		問題点・課題	必要な施策・事業
		<ul style="list-style-type: none"> ・合併後の富山市を巡回するコミュニティ交通手段が不足 ・お出かけバスは使いにくい 	
		ライトレール	ライトレール
		<ul style="list-style-type: none"> ・南北を早くつなぐことが必要 ・日赤へのスイッチバックが必要 ・踏切の信号を改善しノンストップにしてほしい ・電車無通過時は車を常時停止不要にする 	<ul style="list-style-type: none"> ・富山空港まで路面電車を走らせる。 ・富山駅前から日赤病院まで路面電車を伸ばす。
		自転車	自転車
		<ul style="list-style-type: none"> ・子供の自転車の乗り方が危ない ・自転車の左側通行が問題 ・中高校生の2人乗り自転車 ・自転車のノーヘルメット 	
		新幹線	新幹線
		<ul style="list-style-type: none"> ・市民に役立つのか疑問 ・新幹線開通後、在来線がどうなるか心配 	
		その他	その他
		<ul style="list-style-type: none"> ・タクシー料金が高い 	
		上下水道	上下水道
公園緑地	公園緑地	<ul style="list-style-type: none"> ・公園の運営・管理をNPOに委託する ・廃校のグラウンドを緑地型公園にし、市民の自由広場にする。トラックは軟舗装して陸上競技に使えるようにする。 ・城址公園は千歳御殿がポイント。市民参加型イベントにつなげる。 (例：高岡の万葉朗誦の会) 	

富山地域		問題点・課題	必要な施策・事業
	住環境・住宅	森林	<ul style="list-style-type: none"> ファミリーパークの活用（旭山動物園のように人を呼ぶ努力をする）
		<ul style="list-style-type: none"> 森林保全 呉羽山、城山の森林、竹、公園等 里山回帰、竹を切る作業 森林整備（洪水、漁業、労働力確保） 	<ul style="list-style-type: none"> 森林を行政指導で整備（水害予防、漁業活性化のため） きんたろう倶楽部をもっとPRしてほしい 里山問題は、一部の学者の要望を無視して断行すべき。 呉羽山、城山の所有者がわからない。法律的に何が必要か。
		住環境・住宅	住環境・住宅
		<ul style="list-style-type: none"> 消雪は地下水を使わず、川の水を使えないか 雪害、水害時の避難場所の不便さ 騒音 核家族化が問題 	<ul style="list-style-type: none"> 取り壊した住宅の廃棄物問題を考えると、ヨーロッパのように古い家に住み続けることも見習うべき。
		景観	景観
		<ul style="list-style-type: none"> 町のお看板などを取りはずす 市電などに見られる色彩をもっとセンスのあるものに 	<ul style="list-style-type: none"> 城址公園周辺の見直しが必要 きれいな街づくりのため、景観を損ねたら、罰則を与え、違反者をマスコミを通して公表する。 児童たちが行っている美化運動を広報などで紹介し、大人たちにもっと知らせるべき。 夜、代行運転やタクシーがあふれていて景観を損ねている まちなかにある境界線の整備（川、山、丘陵、道路など） まちなかの景観を見直す。例えば西町交差点から見る東西南北の景観 景観100選の募集 日本に誇る立山連峰を生かす工夫が必要

富山地域		問題点・課題	必要な施策・事業
教育・文化	学校教育	学校教育 <ul style="list-style-type: none"> ・ 子供に範を垂れることができない親や先生 ・ 先生が生徒にへつらっている。先生の資質に問題あり ・ 武道場でも先生が生徒を叱ると親から文句が出る 	学校教育 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校の遠足は、市内の観光地を歩いて回るものにする。 ・ 私立有名大学と提携して魅力ある高校を作る (スポーツ関係、音楽関係の学校や、有名私立の先生を引き抜く) ・ 高齢者による、子供のための両親教育を実施する。 ・ 夏休みなどに、学校やお寺などで三世代一緒に学べる機会を作る。
	文化・歴史	文化・歴史 <ul style="list-style-type: none"> ・ 歴史的文化が少ない。(県西部には各都市に山車がある、高山市は昭和30年頃までは完全に田舎であったが、今は年中観光都市) 	文化・歴史 <ul style="list-style-type: none"> ・ 既存の文化施設、動物園、植物園、美術館などの見直し。 ・ 富山市の遺産(後世に残していくもの)を登録、公開する。 ・ 地域の祭礼を保存するために、祭礼のときは学校、会社を休校、休業にして祭りを楽しむ。 【富山らしさ】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 富山から発信できる施設を作る(水ミュージアム) ・ 富山市の目玉は何か
	スポーツ	スポーツ <ul style="list-style-type: none"> ・ 統廃合で廃校になった学校の体育館、運動場の活用 	スポーツ
	交流	交流 <ul style="list-style-type: none"> ・ 不審者と勘違いされ、学校帰りの子供に「おかえり」と声をかけられない ・ 小・中学生と顔なじみになり言葉をかけ続ける ・ 竹刀の持ち方等を教えるとき女の子の手に触れるとセクハラと言われる ・ 人のつながりの希薄 ・ 近所の子供を叱らなくなった 	交流 <ul style="list-style-type: none"> ・ イベントなどで出会いの場を支援

富山地域		問題点・課題	必要な施策・事業
保健・福祉・医療		<ul style="list-style-type: none"> ・地域の隠れた名人の発掘と文化交流 	
		<p style="text-align: center;">福祉全般</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護士が不足している ・ボランティア活動を活発化させる ・各自がどう生きるかを考えるべき ・核家族化が問題 ・行動する長寿会をめざす ・民生委員は何をしているのか ・福祉が厚すぎる。援助が当たり前の世の中になっている。 	<p style="text-align: center;">福祉全般</p>
	児童福祉	<p style="text-align: center;">児童福祉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通学児童を守る仕組みができていない ・地域ぐるみで子供に注目 ・最近の子どもはコンビニ前で座り込み買い食いしている。安全上、衛生上問題あり。 ・学生の服装、飲食の変化、携帯電話の普及。 	<p style="text-align: center;">児童福祉</p>
	高齢者福祉	<p style="text-align: center;">高齢者福祉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元気な高齢者が引きこもりになっている ・70歳くらいまで現役で働くことができない ・シルバー人材をもっと活用すべき ・元気な高齢者の支援 ・ひとり暮らしの高齢者が多い ・老人が自分で自分の行き方を積極的に考えられように仕向ける ・高齢者住宅のメンテが後退している 	<p style="text-align: center;">高齢者福祉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・60歳以上のひとり暮らしをサポートする民生委員の強化 <p>【高齢者の活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元気な長寿者が多いので、働く喜びを感じてもらおう。 ・現役時代の技術を若い人に教える塾を作る。

富山地域		問題点・課題	必要な施策・事業
	障害者福祉	<p>障害者福祉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供の頃から手話を勉強すべき 	<p>障害者福祉</p>
	地域福祉	<p>地域福祉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・向こう三軒両隣の様子がプライベートな問題でわからない ・親、子、孫のコミュニケーション不足 ・孤独死が多くなり、周りの人が気がつかないなどの問題が出ている 	<p>地域福祉</p> <p>【学校（廃校）利用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き教室を長寿会に開放し、放課後の子供と触れ合う場とする ・廃校になった学校の教室を、子供からお年寄りまでが利用できる施設にする。 ・小学校跡地を宅地化する
	保健・医療	<p>保健・医療</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院が遠い 	<p>保健・医療</p>
市民生活 ・環境	環境	<p>環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他都市との差別化、富山市が対策を先行 ・小川の小動物がいなくなり、自然の体系が崩れている ・金太郎クラブの紹介を積極的に ・交通機関の排気ガスの規制 ・地球温暖化と結びつけて自動車1台分を自転車に切り替える ・車のライニングの飛散 ・犬のフンの始末をしていかない ・住民により積極的参加を呼びかける ・リーダーがより積極的に ・油水分離槽の管理が徹底していない 	<p>環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松川、環水公園にホテルを。 ・父親参加の小学生への環境教育 ・環境問題の第一歩はまず我が家から
	衛生管理	<p>衛生管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内単位でのゴミ収集所の不備やトラブル ・ごみ収集に問題あり ・ゴミ処理について処理施設を見学して欲しい 	<p>衛生管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ袋に氏名を記入し、違反をなくする。 ・夜間にゴミの収集をする。

富山地域		問題点・課題	必要な施策・事業
		<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミの問題(カラス対策) ・ゴミ、タバコの吸殻等のポイ捨て ・タバコポイ捨て条例をもっと効果があるように ・松川、富山城のお濠のゴミ取り、浄化 ・車を停めた所で道路にゴミを捨てるものがある ・路上や公園でゴミを捨てると罰金をとれないか ・町内の高齢化で清掃の人集めも難しくなっている 	<ul style="list-style-type: none"> ・黄色いゴミ袋を使用(カラス対策) ・カラスはある程度強制的に排除する ・ポイ捨て条例強化 ・タバコポイ捨て条例などの設定した効果などを広報などで知らせる。
	防犯・火災	<p style="text-align: center;">防犯・火災</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近所づきあいが少なく、防犯上問題 ・家の付近で盗難が多い。香典などが盗まれている。 ・町内の夜回りが中止になった ・光陽校下は県下一車上狙いが多い ・店舗を郊外に移転すると商店街が歯抜け状態になり無用心 ・空き地、空き家の管理 ・古い家、空き家の診断、調査。(火災) ・市全域で防犯協会を中心に校区内を巡視すべき ・校区地域の総点検 ・落書き、タバコのポイ捨て等の放置が風紀が乱れに ・自販機の乱立放置 ・街路灯が少なく、暗いところが多い ・富山人の安全神話からの目覚め ・防犯帽子・腕章の着用 	<p style="text-align: center;">防犯・火災</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防犯サポート隊を作る。若いお父さんたちに参加してもらうため、企業へPR。

富山地域		問題点・課題	必要な施策・事業
		<ul style="list-style-type: none"> ・外国人が多く、不安 ・不審者が多い。特に営業マンや宗教関係。 ・高齢者の安全対策 ・報道規制、真似るものが多い。 	
	地域社会	<p>地域社会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・街中が非常に暗い ・生活しやすい町に ・街中に女性トイレが少ない ・役員のなり手がいなく、町内会を維持することすら困難になりつつある 	<p>地域社会</p> <p>【町内会のパワーアップ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民、企業、行政が参画するまちづくりセンターの設立 ・自治基本条例、市民参加条例の検討（権利・義務の明確化） ・町内会等の機関を条例等の法的裏づけをした機関にする。
		<p>消費生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食の安全 	<p>消費生活</p>
産業	商業	<p>商業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパのように、道路の側に駐車スペースをつけて欲しい ・若い人は金沢へ行きたがる ・空き店舗への入店者に対する支援の優遇制度の見直し 	<p>商業</p>
		<p>中心街</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魅力がない ・関心がない ・夢のあるものがなく、行く理由がない ・魅力ある商店や飲食店がない ・楽しいものがない ・楽しい喜びがない ・文化施設がない ・男物の店、大人の店が少ない 	<p>中心街</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心街に病院や学校を持ってくる ・今後、公共施設は中心部に持ってくる ・高齢者向けの店を作る ・空き家を介護施設の出張所にする ・中心街の裏小路の整備（側溝、カラー舗装など） ・高齢者向けマンションを作る ・大型店を規制する ・郊外店と共存できないなら、税金で格差をつける。

富山地域		問題点・課題	必要な施策・事業
		<ul style="list-style-type: none"> ・病院など公共施設が少なすぎる ・店が少なくなってきた ・商店が少なく買物が不便 ・閉店時間が早い ・若者が関心を示さない ・建物を立派にするより、気軽に入れる店構えを研究して欲しい ・価格が高い ・小さい店が多く、商品の数が少ない ・大和跡地の活用 ・電気・生活関連の大型量販店を中心街に ・老人から若者まで楽しく集まることができるステージ（舞台）を作る ・北日本放送その他のメディア企業を持ってくる ・中心街の駐車場は不便 ・中心街にフリー駐車場がない ・中心街の駐車場は無料にしてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・他市との差別化。「富山らしさ」は必要。 ・同じ「大和」でも金沢はセンス等がハイレベル。富山の売り手買い手のセンス向上が求められる。 ・楽しい娯楽施設等を誘致し、子供から高齢者まで喜びを感じることができる中心街にする。 例えば、吉本興業や有名なレストラン ・大和跡地を市民が買い取る ・大和跡地は、利権者から離して全市民合意のものとして計画していく ・大和跡地に、スーパー銭湯か図書館を。 ・大和跡地は、公園にする ・街全体を劇場と考える。
	工業	工業	工業
		<ul style="list-style-type: none"> ・子供が就職できるような工場がない ・富山県に日本一の企業がたくさんあっても、富山市には就職できるところが少ない 	
農業	農業	農業	
	<ul style="list-style-type: none"> ・休耕田が放置され、雑草田となっている ・皆が農業すれば自給率が上がる 	<ul style="list-style-type: none"> ・後継者が不足しているので、一般の人でも農業をできるようにする。 ・農業委員会は不要 	

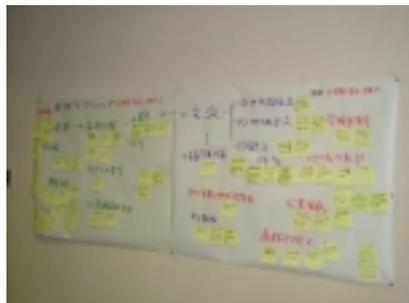
富山地域		問題点・課題	必要な施策・事業
		<ul style="list-style-type: none"> ・減反するより美味しい米をつくるのが先決 ・後継者がいない 	
	その他の産業	その他の産業 <ul style="list-style-type: none"> ・大企業の採用枠が少なすぎる ・エコタウンの中に、休憩処・食事処がない 	その他の産業 <ul style="list-style-type: none"> ・エコタウンを企業見学してもらい、もっと多くの人に周知する
		観光	観光 <ul style="list-style-type: none"> ・神通川を利用した川下りを、夏の年中行事にする。 ・神通川河川敷公園で、徒鵜飼をする。（8月上旬から下旬まで毎日、夏の風物詩として） ・神通川の鮎の塩焼きを名物にする。 ・他都市との連携（金沢、高岡） ・飛越観光（高山、古川の観光客を富山に誘導） ・おわらや麦屋を8月に開催する
その他			<ul style="list-style-type: none"> ・ドーム型共同墓地を増やす ・富山市の資格検定を実施し、富山市に関する知識の普及を図る。（全国にPRし、県内・県外に関係なく受験可能とする） ・「あなたの夢を実現」（上限100万円）として、企業をスポンサーにテレビなどで放送する。

(2) 大沢野・大山・細入地域

【第1回】



【第2回】



【第3回】



総合計画の期待と富山市の将来像

- ・TOYAMA value の素晴らしさが満ちあふれる街づくりの方向性を明快にプレゼンテーションする。
- 21世紀に誇れる富山の価値と感性を象徴する独創的な街づくりを目指す。

キーワード

協働、誇り、交流

- ・コンパクトタウン
歩いて行ける範囲に
自然、歴史、文化、教育がある。
コミュニティでの協働のまちづくりができる。
経済を育むことができる。

数値目標

技術系コンベンション数

進出企業数

祭り動員数

重点事業

市街地整備	<ul style="list-style-type: none"> ・過疎地でも、米だけ、りんごだけに特化し、テーマを持つ。 ・タウンにはテーマと人口密度が必要
公共交通	<ul style="list-style-type: none"> ・新幹線開業後のビジョンを提示、若い人に考える機会を与える。
住環境	<ul style="list-style-type: none"> ・住む市として選ばれる理由を明確にしたい。住んでいる住民が自分の土地にプライドを持つ。
学校教育	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉、教育の分野でまちづくり協議会を各地域に設置
文化・歴史	<ul style="list-style-type: none"> ・語り部活動を盛んにする ・文化の伝承者をおく ・旧6町村の伝承劇の公演
交流	<ul style="list-style-type: none"> ・コンパクトタウン同士の交流 ・旧市町村間の交流 ・地域、個人、行政の「風通しの良い」交流を図る ・Jリーグのチームを作る
地域社会	<ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニティに住民一人ひとりが参加しているという意識と、仕組みを作る。 ・各種団体の整理統合と窓口の一本化 ・近隣市町村「生活お助け隊」の創設
中心街	<ul style="list-style-type: none"> ・平面無料駐車場を作る ・大和跡地を24時間スポーツ・芸能観戦施設、西武跡地を場外馬券売場にする
その他の産業	<ul style="list-style-type: none"> ・産業立地として選ばれる理由を明確にしたい
観光	<ul style="list-style-type: none"> ・立山山麓の通年観光（立山町、富山市などの広域観光） ・通年観光のPFIと立山町との共同観光 ・有峰、奥黒部も観光事業に含めて事業展開する ・41号線を「ノーベル街道」としてPRすべき。 ・雷鳥バレーについて、地域を含めて協議、プランを作る。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・公選する市民委員会の設置 ・行政区域の調整（飛騨市中山地区は行政の境） ・旧町村の憲章を存続、旧町村に制定されていた花や木も大切に生かしていく ・前回の総合計画で積み残したものを整理すべき。

現状の問題点と対策

大沢野・大山・細入地域		問題点・課題	必要な施策・事業
都市基盤	市街地整備	<p>市街地整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河川空間の利用 ・歩いて暮らせる街づくり（建築基準法の規制、用途地域の見直し） 	<p>市街地整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河川空間の利用
	道路・公共交通	<p>道路</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大山地区の道路整備 	<p>道路</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県道と市道のアクセス道路の整備 ・富山・高山高規格道路建設に反対 ・西笹津から楡原までトンネルになると、細入地域は通過点となり寂しくなるが、高山線が強化されることで活気を期待。
		<p>公共交通機関</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用促進を図るべき ・もっと便利に利用したい ・公共交通の確保（バス、路面電車） ・自宅から公共交通の駅・停留所までの交通手段がない ・タイムリーに使える公共交通が必要（オンデマンド） ・競争の原理を導入すべき ・「バス料金が高い 利用者減 料金があがる」の悪循環 	<p>公共交通機関</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅にはレンタサイクル、市内は電気自動車とシェアリングする ・交通アクセスポイントを設けて、マイカーの駐車場を整備し、バス・電車の効率的利用を促す。 ・旧富山市で実施している「おでかけ定期券」の実施 ・鉄道を利用する場合、最寄の駅までは巡回バスがあるか、駅周辺に無料駐車場を設け、パークアンドライド方式を採用する。
		<p>コミュニティバス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JR富山駅から中央病院や市民病院を経由して欲しい ・ファボーレ近くの住民が反対しているため、ルートが不便 ・東西をつなぐバスがない ・スクールバス、自動車学校のバスなども連携して整備が必要 	<p>コミュニティバス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅などのキーポイントをルートに入れる

大沢野・大山・細入地域	
	上下水道
	公園緑地
	住環境・住宅

問題点・課題
<ul style="list-style-type: none"> ・バスのルートは大沢野地域だけでは意味がない。富山地域へつながるように。
ライトレール
<ul style="list-style-type: none"> ・高山線、上滝線の路面電車化
上下水道
<ul style="list-style-type: none"> ・下水道の整備
公園緑地
<ul style="list-style-type: none"> ・公園の整備 ・大山地域の上野台地（旧大川寺遊園）の活用
森林
<ul style="list-style-type: none"> ・放置林の整備 ・自然との共生ができない ・小さいときから森林と親しむ ・熊、猿、猪対策（熊の天敵＝日本オオカミ）
住環境・住宅
<ul style="list-style-type: none"> ・大山＝雪対策 ・細入＝雪対策（屋根雪の消雪、補助金の確保） ・雪対策（重機と個人の良好な協力体制） ・除雪対策、克雪対策 ・浄化槽問題（競争の原理が働くように）

必要な施策・事業
ライトレール
<ul style="list-style-type: none"> ・上滝線をライトレール化し、ポイント地点に別のアクセスをつなげる。
上下水道
公園緑地
森林
<ul style="list-style-type: none"> ・過疎対策と農林業の活性化 ・森林を守るための個人への優遇措置 ・森林対策(地すべりが発生) ・地産地消の推進。家の建築に地元のスギを使えば助成される仕組みを作る。 <p>【自然との共生】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熊とどんぐりについて調査する ・森林インストラクターを育成・強化する
住環境・住宅
<ul style="list-style-type: none"> ・除雪オペレーターの技術の平均化（講習会等の開催） ・雪をもっとうまく生活の中に取り入れて楽しめるプランを作る。 ・住環境が選ばれる理由 <ol style="list-style-type: none"> 1. 空気がきれいなこと 2. 地震がないこと 3. 水がおいしいこと 4. 地元以外の人に寛容であること 5. 病院があること 6. スーパーがあること

大沢野・大山・細入地域		問題点・課題	必要な施策・事業
		<p>景観</p>	<p>景観</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商業看板の乱立を規制。パリの広告塔を見習う。
教育・文化	学校教育	<p>学校教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動を盛んにする 	<p>学校教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学区制は金沢方式にする ・過疎地域の小学校を存続させるため、スポーツや文化、特区などアイデアで学区制を考える。 ・神通碧小学校の「わくわく教室」(地域住民がボランティアとして紙芝居などをおこなっている)は評価できる。
	文化・歴史	<p>文化・歴史</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの地域の文化・歴史の伝承につとめる ・村から催し物が消えていく ・集落の文化の継承が不可 ・合併して村の文化・歴史を失いたくない ・大沢野図書館は終了時間が早い。 	<p>文化・歴史</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富山大空襲記念館を作ってほしい ・地域守り隊をつくり、その人たちに歴史や伝統文化の継承を委託する ・地域をつなぐコーディネーターをつくる ・村の民話を語り継ぐことが大切。細入地域の民家を直した「なごみの家」は3世代が集う場としていければ良い 【公共施設の活用】 ・図書館はボランティアを活用して遅くまで開館してほしい。 ・民間に図書館などの運営を任せ(PFI) ・子供たちに「図書館」とはいいところだ、ということを教える
	交流	<p>交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流人口を増やす ・仕事の後に気軽に集える場所がない ・子供から高齢者まで全ての人が集える場所がない 	<p>交流</p> <ul style="list-style-type: none"> 【世代間交流】 ・公民館行事などで子供と老人の集まりを持つ(伝承文化の継承)

大沢野・大山・細入地域

問題点・課題

- ・コミュニティ施設のネットワーク化。アート、ギャラリー、スポーツなどのイベントを連携して行い、地域のコミュニティの活性化を図る。
- ・心やすらぐ集いの場作り（サロン、スポーツ、アート、カフェなど）
例：スペイン（バルセロナ）、同じ素材なのに何が違うのか
- ・健康づくりに留意した自然体験やものづくり体験（木工など）の拠点施設整備
- ・既存施設や遊休施設の利活用（ガラスや木工などの工房）

児童福祉

- ・子供の城をつくり、母子を支援するしかけを作る(例：長野市)
- ・少子化は大問題。3人目をいかに増やすか。
- ・富山のすばらしい自然を伝え、守っていくために、子供の頃から海、山などの自然と親しむ「体験学習クラブ」を作る
- ・次代を担う子供たちのための親の教育

高齢者福祉

- ・生きがい対策
- ・お年寄りからいろんな話を聞いたり、書いてもらう

保健・医療

- ・身近に医療施設がない

必要な施策・事業

【地域交流】

- ・文化、スポーツ、地域会等各地域の集まりの整理・連携・交流
- ・学校と福祉施設の併設
- ・駅周辺に、老人福祉施設と保育園を併設
- ・違った要素を組み合わせたサロンを作る（例えば、市民プール。プールだけでなくスポーツジムやサテライトギャラリー、カフェなどを併設し、子ども達が多くのかことに触れ合える場とする）
- ・誰もが同じサービスを受け、同じ交流・つながりを持てることが大切。

児童福祉

- ・子供の城をつくり、母子を支援するしかけを作る(例：長野市)
- ・少子化は大問題。3人目をいかに増やすか。
- ・富山のすばらしい自然を伝え、守っていくために、子供の頃から海、山などの自然と親しむ「体験学習クラブ」を作る
- ・次代を担う子供たちのための親の教育

高齢者福祉

【高齢者の活用】

- ・休耕地を市が仲介して借り上げ、高齢者予備軍に利用してもらう

保健・医療

保健・福祉・医療

児童福祉

高齢者福祉

保健・医療

大沢野・大山・細入地域		問題点・課題	必要な施策・事業
市民生活 ・環境	環境	<p>環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイドリングストップ 	<p>環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイドリングストップ（環境汚染軽減に優遇措置） ・不法投棄への対策
	衛生管理	<p>衛生管理</p>	<p>衛生管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合併後の小学校跡地を公園にし、ゴミの集積場を作る
	防犯・火災	<p>防犯・火災</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生の送迎 ・中山間地の子供が減っていくと通学はどうなるのか 	<p>防犯・火災</p>
	地域社会	<p>地域社会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選ばれる時代に選ばれる地域づくり ・地域社会における人間関係の過疎 ・住民は行政に対する甘えが強すぎる面がある ・自分でできることは自分でする市民作りが必要 ・総合計画が何の役に立つのか、単なるガス抜きにならないように ・地域が人を支える仕組みづくりが見えてこない 	<p>地域社会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自死しないですむ社会を望む。密度の高い地域社会を作るために「NPOおせっ会」を設立。 ・住民組織の簡素化・効率化と整理 ・人材と組織をつなぐコーディネーターを配置 ・ボランティアはいつも同じメンバー。「一人一役」運動を提唱したい。
産業	過疎化	<p>過疎化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中山間地、特に奥に住んでいる人が困っている ・車でないと行けない、下水道が整備されていない、ゴミ捨て場になっている。過疎が進んであたりまえ。 ・大山＝過疎対策 	<p>過疎化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集落単位での荘園構想によって、市街と過疎集落を結びつける ・ツーリズムの拠点を設ける ・過疎対策は、イコール森林対策
	商業	<p>商業</p>	<p>商業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場の無料化 ・駐車場のパス

大沢野・大山・細入地域	
	農業
	その他の産業

問題点・課題	
中心街	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目的の場所と駐車場が離れている ・ 中心街にあるものは中心街に行かなくても買うことができる。(例えば竹林堂の饅頭。中心街に行く意味がない。)
地域商店街	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中心商店街が空洞化している ・ 街が寂しいと生活が不便、土地の値段が下がる ・ 地域の暮らしを支えあう関係が見えてこない <p>(例えばイギリスでは、町の小さな雑貨屋さんを近所の人たちが支えている。そのお店がなくなると自分たちが困るから)</p>
農業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 田畑の荒廃
その他の産業	
観光	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大山 = スキー場の存在をアピール

必要な施策・事業	
中心街	<ul style="list-style-type: none"> ・ 若者をひきつける「狼雑性」が必要
地域商店街	
農業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業では生活できない。スイスに学ぶ。農業と森林を同時に考える。 ・ グリーンツーリズムのような、滞在型農業を考える
その他の産業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 製造業で選ばれるには、1. 豊かきれいな水があること 2. きれいな空気があること 3. 豊かな電力があること 4. 優れた人材がいること ・ 情報関連産業に選ばれるには、1. インフラがあって安いこと 2. 地震リスクが少ないこと 3. 技術者(人手)を集めやすいこと
観光	<ul style="list-style-type: none"> ・ 立山連峰の活用

大沢野・大山・細入地域	問題点・課題	必要な施策・事業
	<ul style="list-style-type: none"> ・立山山麓の魅力をもっと発展させたい ・魅力的な資源（史跡、花、景観など）をつなぐ遊歩道の整備 ・行政と住民の協調性が必要 ・観光のために道路網の整備 ・立山山麓の通年観光化（豊かな自然資源や立山信仰の歴史的風土を行かすため、歴史や文化を体験する場づくり） ・税負担と公共サービスのバランスを考える 	<ul style="list-style-type: none"> ・雷鳥パレースキー場と厚生年金センターの存続・一体管理と、通年観光化 ・スキー場の回数券などサービス見直しとキャラクターを使ったのアピール。（例：他スキー場。看板やスタッフのウェアもキャラクターで統一） ・八尾のおわらを9月に集中しないようにできないか
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・過疎化は問題なのか。氷見や大沢野では過疎でもそれぞれが自分の暮らしをしているので元気である。ひとり暮らしの人がいれば、近所の人気がかけて様子を見に行く。暮らしやすい環境を作るために、人口が減ることは問題ではないのではないか。 ・広報をもっと身近なものにできないか。大きくなりすぎて欲しい情報がどこにあるかわからない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・合併して補助金がなくなり地域の活性化が阻まれる ・行政と「自治会」の差 ・道州制へ移行すべき ・公共サービス一括のパスを作る ・子供たちの頭にある街が将来の街 ・合併して、「市役所」が身近に感じられない。スピード化と陳情窓口の一本化を望む。 <p>【総合計画について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合計画に数値目標を出す ・市自らが行う行動計画を40項目以内でまとめる ・合併による効果を最大化する ・経費削減の目標を数値で示す ・地域の特色を生かすために、多核多心 ・発展とは選ばれる場所であること ・ものづくりを支える市民であることを全国にアピールする ・固定資産税の税率を考える

(3) 八尾・婦中・山田地域

【第1回】



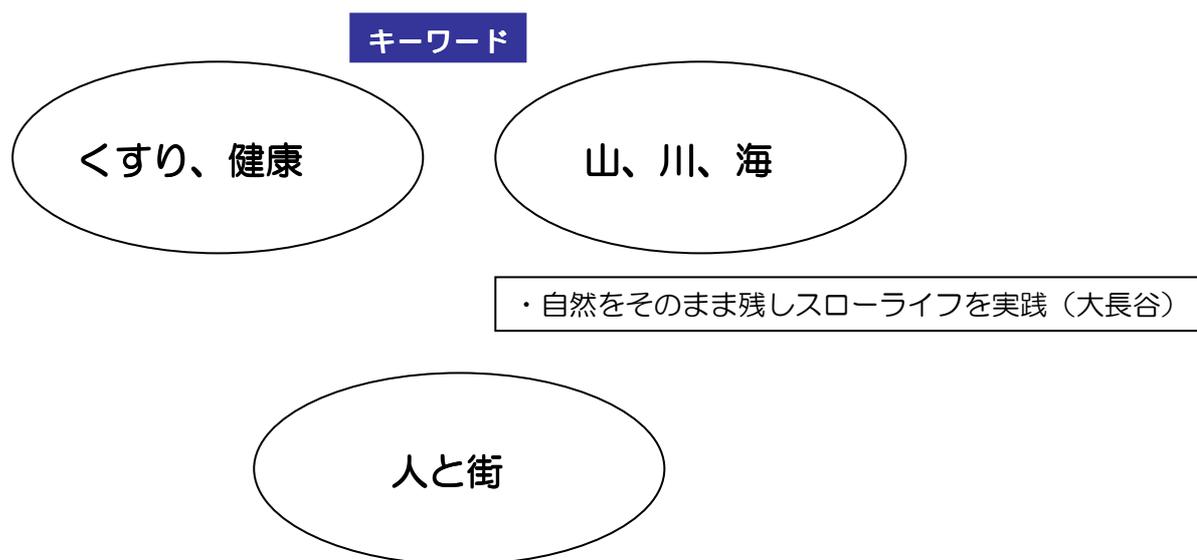
【第2回】



【第3回】



富山市の将来像



数値目標

個人ごとの健康管理目標の設定

重点事業

市街地整備	<ul style="list-style-type: none"> ・インフラ整備 (旧富山市への道路は整備されているので、旧市町村間の道路の整備が必要)
公共交通	<ul style="list-style-type: none"> ・高山線、上滝線の駅に駐車場を作り、パーク＆ライド方式に。 ・高山線の運行本数と時間延長(朝、夜)
学校教育	<ul style="list-style-type: none"> ・学区のフリー化。 ・小規模学校の良さを見直す。 (他校で登校拒否になった生徒が元気に登校できるようになった例もある。知的障害者も一緒に机を並べて勉強することにより、障害者を理解し、思いやりの心も生まれる。) ・総合学習に学校間交流を取り入れる。また農村への宿泊学習を実施する。
文化・歴史	<ul style="list-style-type: none"> ・熊野神社の稚児舞の継承(300年)
スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> ・婦中町のカドミ汚染田に自然芝の野球場を作る。
地域社会	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で学校、子供を守る。(子どもがいない家庭もPTA会費を負担し、子供のためのパトロールをする) ・地域力強化 ・住民の意識改革。地域ごとに優先順位を決める。
農業	<ul style="list-style-type: none"> ・地産地消(学校、公共施設でもっと推進すべき)(合併後、全て富山市に一本化された。地元への配慮が必要) ・グリーンツーリズムの位置づけを明確に。効果のあるものに。行政主導ではなく自由に使える予算をつけてほしい。 ・帰農、帰土、帰緑 ・農道整備に地元負担をなくす。
その他の産業	<ul style="list-style-type: none"> ・人口増 環日本海交流 子供の留学 国際人の育成 新産業創出 = 世界の"TOYAMA"
観光	<ul style="list-style-type: none"> ・富山空港を中心に、山、海、川などの資源を活かした観光振興 ・観光振興は金沢に対抗するのではなく、別の視点で。たとえば「スローライフ」「自然遺産」など。 ・「いこいの村」の活用(核になるものを整備。民営化。コンベンションに利用。) ・自然を活かした「健康」と「薬」をアピール。 ・観光客の誘致(旧富山市より山の方に魅力がある) ・外国人観光客対応ビジネスの創造
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・山田地域にコールセンター等の誘致 ・保険で不妊治療ができる特区

現状の問題点と対策

八尾・婦中・山田地域		問題点・課題	必要な施策・事業
都市基盤	市街地整備	市街地整備	市街地整備
		<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画、道路計画の充実 ・道路などインフラ整備の充実 ・都市計画、市街化区域、調整区域の見直し ・スプロール化の防止（コンパクトなまちづくり） ・住民主体のまちづくり体制の確立 ・ランドデザインの見直し。各地域の目玉に基づいた街づくり。住民の意見が反映されることが大切。 ・八尾＝都市計画を根本的に作り直す必要がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・箱モノはいらないが、ソフトが必要。それは住民の力である。地域で自由に使える資金を確保して、アイデアを募集する。 ・ランドデザインの見直し。どこにどんな魅力があるか洗い出す。
	道路・公共交通	道路	道路
		<ul style="list-style-type: none"> ・国道471.472号が5年間通行止めが続いている。 ・交流人口拡大に向けた公道の安全性確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・富山西～富山～富山東（流杉）、各IC連携の高規格道路整備 ・富山空港下のトンネル事業 ・八尾町の交通アクセスの改良と、駐車場の増設 ・婦中、山田間の道路整備。 ・59号が利賀まで通行止めになったまま。 ・街灯、カーブミラーが少ない。 ・ガードレール補修が遅い。
		公共交通機関	公共交通機関
		<ul style="list-style-type: none"> ・見直しが必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者のバス割引制度導入 ・富山 山田 バス運賃が高い。最終バスの時間が早い。

八尾・婦中・山田地域

問題点・課題

必要な施策・事業

	上下水道
	公園緑地
	住環境・住宅

コミュニティバス
<ul style="list-style-type: none"> ・全市連携
ライトレール
<ul style="list-style-type: none"> ・山岳方面への拡充
上下水道
<ul style="list-style-type: none"> ・下水使用料が高い ・八尾、婦中 = 下水道普及率の向上 ・下水道認可地域内の未整備地域における合併浄化槽設置への補助策
公園緑地
森林
<ul style="list-style-type: none"> ・山の活用による治山治水の確立
住環境・住宅
<ul style="list-style-type: none"> ・重点除雪路線の設定

コミュニティバス
<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバスの運行は、通勤通学の時間に合わせる ・山田 = 学校の始業に間に合わない。八尾、富山との接続が悪い。学校や地鉄と連携をとれば利用しやすくなる。
ライトレール
<ul style="list-style-type: none"> ・神通川以西へのライトレールもしくはモノレールの導入
上下水道
<ul style="list-style-type: none"> ・下水道加入負担金の平準化と、下水道加入の促進 ・下水道事業はニーズの高いところを調査して優先順位を決める。 ・婦中町の下水道促進（地域外は合併浄化槽に対する助成を行う）（認可地域は合併浄化槽の補助金がでない）
公園緑地
<ul style="list-style-type: none"> ・公園がない、遊具がないことで過疎が進むのではないか不安
森林
<ul style="list-style-type: none"> ・山菜取りを有料化する（ゴミやペットを捨てる山菜泥棒がいる） ・山の手入れをする人の減少 ・効率よく自然を守っていくことが大切。仕組みを変える。婦中町を守っている室牧ダムの土砂がたまっている。
住環境・住宅
<ul style="list-style-type: none"> ・除雪を確実に実施する ・除雪に地域力を活用。（機械の貸し出し） ・山田 = 最低限の住む環境を整えてほしい

八尾・婦中・山田地域		問題点・課題	必要な施策・事業
教育・文化	学校教育	学校教育 <ul style="list-style-type: none"> ・教育施設の充実（速星・鵜坂地区での小中学校の増築） ・小学校低学年の教育方法 ・学校選択制の導入 ・通学区域の見直し ・通学区域にこだわることなく、それぞれが特徴をもった学校を作り、好きな学校に行けるようにする ・労働意欲を持たせる教育 	学校教育 <ul style="list-style-type: none"> ・学区の一部をフリー化、選択制とする。
	文化・歴史	文化・歴史 <ul style="list-style-type: none"> ・伝統文化が息づく街並みの再生 ・地域特性をいかに残すか ・伝統文化の担い手育成 ・伝統文化の保存・育成 ・八尾おわらでの県外客への対応 ・文化、芸術資源の有効活用（八尾おわらの客を婦中、山田の観光へつなげる） ・観光、文化財の連携、結合 ・市職員の意識改革（住民奉仕） ・伝統を守る主体である地域住民の定住化と他地域からの「異人」の受け入れ 	文化・歴史 <ul style="list-style-type: none"> ・廃校の活用(作家に利用してもらう)
	スポーツ	スポーツ <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ施設の充実（野球場、サッカー場、陸上競技場など） 	スポーツ <ul style="list-style-type: none"> ・婦中町のカドミ汚染田に自然芝の野球場を作る。（五福の県営球場は老朽化し、夜間照明もない。）
	交流	交流 <ul style="list-style-type: none"> ・交流人口の増加（準町民化） 	交流 <ul style="list-style-type: none"> ・富山空港が富山市の中心であり、国際化に対応した計画が必要 ・従来の行政枠にとられない地域連携の見直し

八尾・婦中・山田地域		問題点・課題	必要な施策・事業	
<div style="background-color: #00bfff; color: white; padding: 5px;">保健・福祉・医療</div>	<div style="background-color: #000080; color: white; padding: 5px;">児童福祉</div>	<div style="background-color: #f4a460; padding: 5px;">児童福祉</div>	<ul style="list-style-type: none"> 山、川、海、街の資源を活かした定住人口の増加策 人口減は地域力低下 	
	<div style="background-color: #000080; color: white; padding: 5px;">高齢者福祉</div>	<div style="background-color: #f4a460; padding: 5px;">高齢者福祉</div> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者福祉施設の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 山田地域に遊び場を整備 	
	<div style="background-color: #000080; color: white; padding: 5px;">障害者福祉</div>	<div style="background-color: #f4a460; padding: 5px;">障害者福祉</div> <ul style="list-style-type: none"> 障害者福祉施設の充実 	<ul style="list-style-type: none"> シルバー人材の活用 老人福祉施設の増設 可愛らしい、好かれる老人となるための勉強会を開催する 駐車場がゲートボール場になった。老人福祉の一環であるが、住民は住みにくくなった。（井田川河川敷） 	
	<div style="background-color: #000080; color: white; padding: 5px;">保健・医療</div>	<div style="background-color: #f4a460; padding: 5px;">保健・医療</div>	<ul style="list-style-type: none"> 病院がない、救急車がない、消防車がない 	
	<div style="background-color: #f4a460; padding: 5px;">市民生活・環境</div>	<div style="background-color: #000080; color: white; padding: 5px;">環境</div>	<div style="background-color: #f4a460; padding: 5px;">環境</div> <ul style="list-style-type: none"> 省エネ運動（CO2対策、森林保護） 	<div style="background-color: #f4a460; padding: 5px;">環境</div>
		<div style="background-color: #000080; color: white; padding: 5px;">衛生管理</div>	<div style="background-color: #f4a460; padding: 5px;">衛生管理</div> <ul style="list-style-type: none"> ゴミの減量化 	<ul style="list-style-type: none"> 山田は雪が多いが、旧富山市と同じようにゴミ収集できるのか。 山にゴミを捨てる人が多い
		<div style="background-color: #000080; color: white; padding: 5px;">防犯・火災</div>	<div style="background-color: #f4a460; padding: 5px;">防犯・火災</div> <ul style="list-style-type: none"> 八尾町 = 空き家対策 24時間連続の防犯対策 犯罪から子供を守る 防犯灯の設置、増強 婦中 = 水害対策。ポンプ車1~2台増やしただけでは対応できない。 携帯電話の不感地帯の解消 	<ul style="list-style-type: none"> 災害予防のための地域パトロール

八尾・婦中・山田地域		問題点・課題	必要な施策・事業
	地域社会	<p style="text-align: center;">地域社会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニティ対策（安心・安全を守るソーシャル・キャピタル醸成運動） ・地域を守るボランティア活動の推進 ・市内どこでも同じサービスを受けられるように ・高齢者が住み良い街づくりを ・地域の特性の見直しと連携 ・各地域間交流での相互理解 ・住民意識の改革 ・コミュニティ活動の後継者がいない 	<p style="text-align: center;">地域社会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民が参加できる仕組みづくり。県の事業「元気とやま」のようなものを導入 ・地域ボランティアに対する助成 ・地域力増強のため、社会教育生涯学習機関の充実
		過疎化	過疎化
		<ul style="list-style-type: none"> ・過疎予備地域対策 ・モノを作るよりも自然の山・川を活かして人を呼ぶ工夫が必要。そのために道路の整備、地区を活かすための施策が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・もっとオープンにならないと、外から人が入ってこない。外の人が住みにくい。過疎になってしまう。
	産業	商業	地域商店街
		<ul style="list-style-type: none"> ・歴史ある商店街の活性化 ・観光商業推進による地域活性化 ・イベント情報の有効な発信方法 ・旧婦中の中心、速星地区の活性化（都市計画税の活用） 	
	農業	<p style="text-align: center;">農業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市計画市街化区域内のカドミニウム汚染、農地の早期復元。虫食い状態で開発もできない。 	<p style="text-align: center;">農業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就農準備校を作る（都会の人が田舎に住む訓練をする。現在大都市にはあるが、都会ではなく現場である富山市内に作るべき。廃校等を利用する。） ・遊休農地（貸し農地、売り農地）の情報収集と提供

八尾・婦中・山田地域

	その他の産業

問題点・課題

その他の産業
<ul style="list-style-type: none"> ・外国人労働者の受け入れ
観光
<ul style="list-style-type: none"> ・牛岳スキー場存続問題 ・滞在型の観光 ツーリズム ・八尾おわら踊りをしたい県外の同好者への対応。 ・観光資源のネットワーク化。旧富山市民をボランティア参加させる

必要な施策・事業

<ul style="list-style-type: none"> ・耕作放棄田畑バンクの設立 ・カラス、ブラックバス対策(生態系の変化、ウサギやホタルが減少、イノシシやカモシカが増えている) ・山田 = 営農強化。米の品質ランクづけ、ブランド化。
その他の産業
<ul style="list-style-type: none"> ・山田地域 = 働く場がない。企業誘致は無理。インターネット回線を利用すればビジネスはできる。「共同オフィス」にする。公共施設の棚卸が必要。
観光
<ul style="list-style-type: none"> ・山田地域を、温泉を利用してリゾート地として開発 ・八尾の「おわら」を観光資源としてもっと活用する ・全国おわら踊りファンの同志及び他県の商工会等に呼びかけ、舞台踊りの競演の機会を与える。(参加家族や友人等も八尾に来ることができる。祭りを盛り上げ、活性化につながる) ・街並修景事業の推進(看板、駐車場の植栽等民間レベルでの推進)と、それに合わせた商店の支援 ・街並修景整備(住宅改修)への補助 ・あかり環境の整備(街並の演出、防犯性向上) ・観光商業推進のための具体的プラン策定のための調査が必要 ・市の観光ルートを確立すべき。観光戦略を策定。 ・空き家マネジメント。まちづくり会社を設立。観光商業のイメージづくりで行う。 ・風の盆の期間中の民泊制度導入

八尾・婦中・山田地域	問題点・課題	必要な施策・事業
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公共事業、道路、治山等の有効性を持たせるための一体性の確立 ・県都としてのシンボリックな発展 <p>八尾 = 山とどうつきあっていくか。携帯電話不感地区に対して行政的援助はできないか。遭難が発生したら大変なことになる。</p> <p>婦中 = 速星校下、鷓坂校下は大雨による水害が多く、ポンプ車1~2台増やしただけでは対処できない。人口増加地区でもあり、教室が足りない状況。早急な学校増改築が必要。</p> <p>山田 = 村長を中心に1つのファミリーとして、役場の人々がファミリーを支えていた。合併後、役場の人々が今までのようにできないことが多く困っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・街路整備、無電柱化の推進（看板、空き地等の見直し） <p>【行政の効率化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・政治力で左右されるのではなく、バランスを見て投資を行う ・1ターンを促進するために、全国に向けた富山市広報の強化 ・効率よく自然を守っていくことがテーマ ・市職員に毎年何日かボランティアさせる ・地域（旧町村ごと）の合併損は許されない ・災害対策は行政力 ・治山・治水の見直し ・中山間地は現状レベルの「住み良さ」が必要 ・災害予防の山と農地の保全 ・道路復旧工事を行う際、同じ規格に修復するのではなく、新しい規格に改良し、確実な道路として整備する

富山市総合計画策定に向けた地域別ワークショップ 結果報告書

平成18年2月発行

発行：富山市企画管理部企画調整課
〒930-8510 富山市新桜町7番38号
電話：076-443-2010
URL：<http://www7.city.toyama.toyama.jp/>
E-mail：kikakutyosei-01@city.toyama.lg.jp

実施・編集：株式会社 ラックス